



拉致被害者の蓮池薰氏と意見交換

撮影の為、マスクをはずしています

プロフィール

昭和46年 吳市川尻町生まれ
祖父は坪川蔵之助（元川尻町長）
父は坪川禮巳（元広島県議会議員、清水ヶ丘学園理事長）
平成元年 広島県立広高等学校卒業（40期）
平成5年 明治大学理工学部工業化学科卒業
ライオン株式会社研究開発本部入社
平成9年 株式会社 坪川毛筆刷毛製作所入社
平成21年 吳広域商工会青年部長
平成25年 吳法人会青年部会長
平成31年 広島県議会議員 初当選
令和元年 常任委員会 建設委員
特別委員会 地域魅力向上・健康を支える社会基盤強化対策特別委員
令和2年 常任委員会 総務委員
特別委員会 決算特別委員
令和3年 常任委員会 建設委員
特別委員会 國際平和・觀光振興対策特別委員
令和4年 常任委員会 警察・商工労働委員
吳市地方港湾審議会委員

現在は…

公益財団法人吳法人会 監事
吳間税会 豊田支部長
吳広域商工会 監事
川尻毛筆事業協同組合 理事長
地方創生セミナー 副委員長
広島県土地家屋調査士会 顧問
吳飲食組合 顧問
広島県理容環境衛生同業組合吳東支部 顧問
吳本通商店街振興組合 顧問
日中友好議員連盟
日華友好議員連盟
ユニタール支援議員連盟
ASEAN研究会
水産振興議員連盟
県中央政策研究会
商工会地域活性化議員連盟
農林業活性化議員連盟
果樹園芸振興議員連盟
北朝鮮拉致問題早期解決促進議員連盟

SNSで日々の活動を配信中!!



坪川竜大 公式

坪川竜大 公式

料金別納 郵便
郵便区内特別

県政報告 2022 Vol.8

**自由民主党広島県議会大志会
広島県議会議員《吳市選挙区》**

51歳

坪川たつひろ

警察・商工労働委員、国際平和・観光振興対策特別委員

連絡先

坪川竜大事務所 〒737-2602 広島県吳市川尻町森2-10-1
TEL(0823)87-2123/FAX(0823)87-6124

自由民主党広島県議会大志会
〒730-8509 広島県広島市中区基町10-52 TEL(082)513-4664/FAX(082)223-2034



ご挨拶

新型コロナウイルスは、次々と変異を繰り返し、未だ収束の気配をみせておりません。ヒトに感染する未知のウイルスは推定で最大85万種類存在するとされています。

今後もこうした新興感染症等のリスクに、恒常に備えていかなければならない中、さらに、ロシアのウクライナ侵略、それに伴うエネルギー、食料価格の高騰など、多くの課題に直面しており、まさに日本は国難とも言える危機的状況にあります。

こうした中、本県にとって重要なことは、科学技術・イノベーション、カーボンニュートラルや経済安全保障などを成長戦略と位置づける政府の動きにしっかりと対応していくこと、そして、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた社会・経済の発展的回復のために、何をすべきかを考え、今から準備することです。

様々な国難ともいえる危機に直面している今、たとえ一人であっても、苦しんでいる人、困っている人がいれば、それを救うのが政治家の責任があります。

県民の誰もが長生きし、心から生まれてきて良かったと思えるような広島県になることを望み、引き続き、幅広い知識、見識を身につけてまいりたいと思います。

敬具

令和4年10月吉日



加藤勝信厚生労働大臣と

ご意見等ございましたらご連絡いただければ幸いです。また、県政報告の受取ご希望の方をご紹介ください。

9月22日

スマートピッヂ

定例会の様子は <https://www.youtube.com/watch?v=WuFnC7WLeQI&t=295s>

1 グリーントランスフォーメーション(GX)の推進について

[坪川] 国のGXへの投資の動きに対し、広島県としてどのように舵を切っていこうとしているのか

[知事] 広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会を通じたマッチング支援や、産学官連携ワーキンググループの設置、県独自の研究・実証支援制度の創設など、カーボンリサイクル関連研究者等にとって魅力的な環境とすることにより、関係する企業や研究開発機関などの県内への集積を図り、カーボンリサイクルに係る新たな投資を呼び込みたい。

グリーントランスフォーメーション（GX）とは？

産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体を変革すること

2 県主導のサーキュラーエコノミーの推進について

[坪川] 県として市町との連携を進め、稼げる事業としてのサーキュラーエコノミーの確立を県が主導的に推進していくべき

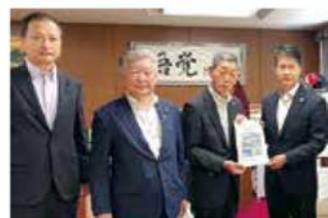
[知事] 本県においても、「カーボン・サーキュラー・エコノミー」を実現するため、新たな産業集積を図っており、また、近年、世界的な課題となっている海洋プラスチック対策として、製造・流通・小売などの企業や市町と設立した「GREEN SEA瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」において、先月から順次、・ワンウェイプラスチックから循環利用可能な素材への転換、・廃棄されていたプラスチック製品を元の製品に再生する水平リサイクルなどの資源循環の拡大に向けた先進的なモデル事業に取り組んでおり、新たなビジネスモデルの構築に向け、積極的に取り組む企業を支援している。

このほか、
・市町や地域の方々と連携した未利用の木質バイオマスを活用した地域内の循環利用や、
・かき殻や廃プラスチックを資源として、塗料やゴミ袋などに再生する商品開発支援などを実施している。

企業や自治体などと意見交換の場を設定し、市町での検討や取組が促進されるよう連携を深めており、引き続きサーキュラーエコノミーの取組を推進してまいりたい。

サーキュラーエコノミーとは？

既存の資源や未利用資源を循環的に活用し続ける循環型経済システムのこと



湯崎知事に呉市要望活動



中本議長に呉市要望活動

3 持続可能な農漁業の生産体制の構築について

1) 食料安全保障が重要視される中での本県の農業について

[坪川] 本県は、食料自給率向上及び農地保全に寄与する小麦

令和4年 9月定例会 一般質問

すべての質問において前向きな答弁

や飼料作物などの生産を振興し、食料安全保障に貢献すべき

[知事] 輸入に頼っていた小麦や飼料作物等の自給率を高めることが重要である。

穀物相場高騰の長期化を受け、パンや麺類を製造する食品関連企業や配合飼料を大量に利用している畜産経営体からのニーズが高まりつつあることから、農業者の所得向上や農地の有効活用にもつながる小麦や飼料作物の生産を積極的に進めてまいりたい。

このため、小麦につきましては、食品関連企業に対して詳細な需要調査を行い、その情報を生産者に提供して栽培を働きかけるとともに、収量と品質の確保に向けて水田の畠地化や多収技術の普及に取り組むことで、生産規模の拡大を進めてまいりたい。

また、飼料作物につきましては、特に養鶏業者からのニーズが高まっていることから、水稻と同じ条件で栽培できる飼料用米を重点的に推進することとし、推進に当たっては養鶏場から生じる鶏糞を化学肥料の代わりに米生産に使っていただくことで、双方の連携を強めマッチングを進めてまいりたい。

2) 瀬戸内海の貧栄養化問題への対策について

[坪川] 瀬戸内海を「豊かな海」にするために、刻一刻と変化する水質環境において、栄養塩類対策にスピード感を持って取り組むべきと考えるが、県としてどのように進めていくのか？

[農林水産局長] 栄養塩類と水産生物については、まず、本年10月から、県内数カ所において、窒素やリンなどの濃度に加えて、カキやアサリの重量などの基礎調査を行い、次に、来年度から、下水道事業者との合意が得られた処理場の周辺海域において、栄養塩類の拡散状況や、生物の成長などを追跡する実証実験に移行し、その後も実施地区を順次追加していくことで、科学的知見を蓄積し、管理計画の早期策定につなげてまいりたい。

4 アフターコロナの観光振興について

1) 外国人観光客の受入環境の整備について

[坪川] アフターコロナのインバウンド拡大期を見据えて、「誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境の整備」に向け、海外から広島県への空の輸送手段の充実化や空港の検疫体制などの受入環境整備にどのように取り組もうとしているのか、また、観光地への移動における公共交通の利用促進について、どのように進めていくのか？

[土木建築局長] 広島空港の国際航空ネットワーク等の充実については、広島国際空港株式会社通称「HIA (ハイアップ)」が、30年後に目指す将来ビジョンにおいて、現在の7路線を22路線に拡充するとともに、出入国者の乗継ぎの利便性向上に資するため、成田線の増便にも積極的に取り組むこととされており、このビジョンの実現には、HIAだけでなく、官民連携組織である「広島空港振興協議会」において、HIAが拡充を目指す路線ごとにプロジェクトチームを設置し、今後、観光施策と連携し、インバウンド需要の取込みなどについて効果的な取組を進めていく。

広島空港の検疫体制については、国内外の水際対策の緩和に伴い、今年の7月末に、国際線受入環境が整備され、実施主体である国において、アプリ等を利用した検疫手続きの簡素化が進められているところであります。県として、引き続き、国に対して、空港検疫手続きの更なる円滑化を要請していく。

空港アクセスの強化については、今年度、県やHIA、県観光連盟で構成するプロジェクトチームを設置し、将来的なインバウンド拡大を見据えた新たなアクセス路線の拡充について、最適な交通モードや運行形態など、持続可能な仕組みづくりを含め、検討を進めている。

2) サミット後も持続可能な観光事業について

[坪川] 観光事業について、サミット後も持続するため、特にアドベンチャーツーリズムの推進などによりアフターコロナの新たな観光事業として再構築すべきと考えますが、県としてどのように取り組もうとしているのか？

[知事] 観光プロダクト開発促進事業において、今年度、地元の事業者や住民等と幅広いネットワークを有し、観光プロダクトの開発をけん引していくエリアマネージャーを県内の各エリアごとに新たに設置し、

- ・江の川の大自然をラフティングやEバイクなどで満喫するアドベンチャー体験、
- ・湯来を流れる清流でのシャワークライミングと地元の温泉や食を楽しむツアーエ

・本県の自然、企業の歴史、島人の暮らしなどを1週間程度長期滞在して深く体感するプログラムなど、自然や文化を体験する新たなプロダクトの開発等に取り組んでいる。

こうした新たに開発したプロダクトなどを含めた、本県の多様な魅力について、

- ・海外有力メディアなどを対象とした視察ツアーや、
- ・海外の観光関係メディアや首都圏への広報活動などにより、国内外に効果的に発信していく事業に加えて、観光関連事業者が行うWi-Fi環境整備等のデジタル化対策や多言語表示などのユニバーサル対策などの受入環境整備を支援する事業について、G7広島サミットやサミット後のインバウンドの回復等を見据え、9月補正予算に計上している。



一般質問の様子

警察・商工労働委員会 質問

観光促進事業について

- やっぱ広島じゃ割の現状とその効果について
- 近距離エリアを対象とし、コロナ対策を行った上で観光誘客事業を実施する予定について
- 観光事業における地域経済をけん引する取組の検討について➡要望

[広島県議会] 令和4年7月19日 警察・商工労働委員会

54:20~59:00

要人警護に向けた取組について

- 要人警護の基本事項をまとめた警護要則の見直しの内容について
- 県警において要人警護の取組をどのように進めていくのかについて
- 既存の概念にとらわれることなく、会議が安全、安心かつ円滑に開催できるよう万全の準備で臨んでいただくとともに今後も必要な体制を確保されることについて➡要望

[広島県議会] 令和4年9月27日 警察・商工労働委員会

18:42~24:14



県産酒類を活用した観光復活支援事業について

- コロナ禍における県産酒類の影響度合いについて
- 落ち込みの大きい県産品は他にあるのかについて
- 次回以降の県産酒類以外の県産品について➡要望

[広島県議会] 令和4年8月19日 警察・商工労働委員会

21:16~24:16

現広島FMP開発事業用地の利活用に係る構成員変更の経緯について

- 構成員が大幅に変更することについて問題はないのかについて
- 7ヶ月も経過している時期に変更になった理由について
- 事業者の審査基準の適格性は問題ないのかについて
- 事業者の変更について不透明であってはいけないし、もう少し議会に説明があっても良かったについて➡要望

[広島県議会] 令和4年9月14日 警察・商工労働委員会

31:55~35:53

国際平和・観光振興対策特別委員会 質問

核兵器拡散防止条約締約会議について質問

- 締約国会議で取りまとめられた「ウィーン宣言」について
- 締約国会議における成果に関する資料提供について➡要望

[広島県議会] 令和4年7月27日 国際平和・観光振興対策特別委員会

36:18~38:03